



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月5日

上場会社名 東京鋼鐵株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 5448 URL <http://www.kohtetsu.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗原 英夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役鉄構開発部長兼 (氏名) 小口 芳一 (TEL) 0285-21-0513  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,760	△5.7	690	5.0	718	5.6	447	19.8
24年3月期第2四半期	8,229	12.2	657	△7.7	680	△9.4	373	△16.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年3月期第2四半期	25.68		—					
24年3月期第2四半期	21.44		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	18,278	14,193	77.6
24年3月期	18,049	13,833	76.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 14,193百万円 24年3月期 13,833百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00			
25年3月期(予想)			—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	△7.7	1,110	△24.0	1,150	△26.7	680	△23.6	39.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	17,446,000株	24年3月期	17,446,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	32,617株	24年3月期	32,538株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	17,413,394株	24年3月期2Q	17,413,462株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
【第2四半期累計期間】	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、震災復興関連需要を背景に緩やかな景気回復の動きが見えたものの、長期化する円高や欧州の債務危機による世界経済の停滞により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の属する普通鋼電炉業界におきましては、中国、韓国の景気減速から主原料である鉄スクラップ価格が下落し、国内鋼材市況も盛り上がりには欠けました。また、電気料金値上等に起因したエネルギーコストの上昇により、経営環境が悪化いたしました。

こうした状況のもと当社では、引き続きコスト競争力の強化に努め、きめ細かな顧客対応を行い、適正な製品販売価格を模索するとともに、高成長を続けるアジア諸国を中心に鋼片輸出を積極的に行ってまいりました。

当社といたしましては、震災復興関連需要の本格化には時間を要することから、今後の市場動向を慎重に見極めながら適正な製品販売価格の維持に努め、需要見合いの生産、徹底したコスト削減と付加価値創造による形鋼の用途開発に取り組み、業績の向上に邁進する所存であります。

当第2四半期の業績は以下の通りです。

## ①売上高

鉄スクラップ価格の下落により、国内の鋼材需要は在庫意欲が減退し、販売価格も低位に推移したことから、鋼材売上高は521百万円減少いたしました。鋼片売上高については、アジア諸国を中心に輸出販売を積極的に行ったことにより46百万円増加しました。よって売上高は、前年同期比468百万円減少（ $\Delta 5.7\%$ ）し、7,760百万円となりました。

## ②営業利益

電気料金値上げにより製造コストが上昇しましたが、前期に完工した圧延加熱炉燃料転換工事による燃料費削減に加え、割安な深夜電力を利用した夜間操業の徹底及び海外からの資材調達等によるコスト低減により、営業利益は前年同期比32百万円増加（ $5.0\%$ ）し690百万円となりました。

## ③経常利益

上記営業利益の増加により、前年同期比38百万円増加（ $5.6\%$ ）し718百万円となりました。

## ④四半期純利益

法人税等を差し引いた結果、経常利益の増加により、前年同期比73百万円増加（ $19.8\%$ ）し447百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ339百万円増加（ $4.6\%$ ）し7,771百万円となりました。これは、鉄スクラップ価格の下落により、原材料及び貯蔵品が207百万円減少しましたが、純利益計上に伴い預け金が920百万円増加したこと等によります。固定資産につきましては、減価償却費相当分が減少したことにより、前事業年度末に比べ109百万円減少（ $\Delta 1.0\%$ ）し、10,507百万円となりました。

これにより、総資産は前事業年度末に比べ229百万円増加（ $1.3\%$ ）し、18,278百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ75百万円減少（ $\Delta 3.0\%$ ）し2,472百万円となりました。これは、鉄スクラップ価格の下落等にもなう仕入債務の減少と法人税等の納税等によるものです。固定負債につきましては、長期借入金が増加したことにより、前事業年度末に比べ55百万円減少（ $\Delta 3.3\%$ ）し、1,613百万円となりました。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ130百万円減少（ $\Delta 3.1\%$ ）し4,085百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ360百万円増加（ $2.6\%$ ）し14,193百万円となりました。これは、純利益計上により利益剰余金が360百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前事業年度末に比べて936百万円の増加となり3,165百万円となりました。なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,197百万円（前年同四半期は412百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税引前四半期純利益728百万円、減価償却費350百万円と、売上債権の減少364百万円、たな卸資産の減少234百万円であります。支出の主な内訳は、仕入債務の減少188百万円と法人税等の支払による支出313百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は124百万円（前年同四半期は268百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出149百万円が要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は137百万円（前年同四半期は659百万円の支出）となりました。これは、借入金の返済により有利子負債が50百万円減少したことと、剰余金の配当による支出87百万円によるものであります。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、本日別途公表致しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

ア：税金費用の計算

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	89,484	105,905
受取手形及び売掛金	3,519,951	3,155,442
商品及び製品	1,016,298	991,336
原材料及び貯蔵品	550,380	343,190
預け金	2,140,000	3,060,000
その他	116,474	115,780
流動資産合計	7,432,588	7,771,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,067,161	1,040,589
機械装置及び運搬具（純額）	3,796,661	3,770,662
土地	4,541,630	4,541,630
その他（純額）	454,711	439,266
有形固定資産合計	9,860,165	9,792,147
無形固定資産	83,225	71,609
投資その他の資産	673,753	643,524
固定資産合計	10,617,143	10,507,281
資産合計	18,049,732	18,278,936
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	953,884	905,146
短期借入金	100,000	105,000
未払法人税等	321,076	288,458
引当金	185,263	173,819
その他	988,020	999,890
流動負債合計	2,548,244	2,472,314
固定負債		
長期借入金	185,000	130,000
引当金	107,603	107,603
その他	1,375,717	1,375,717
固定負債合計	1,668,320	1,613,320
負債合計	4,216,564	4,085,635
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,453,000	2,453,000
資本剰余金	981,690	981,690
利益剰余金	8,006,006	8,366,177
自己株式	△13,083	△13,121
株主資本合計	11,427,612	11,787,746
評価・換算差額等		
土地再評価差額金	2,405,555	2,405,555
評価・換算差額等合計	2,405,555	2,405,555
純資産合計	13,833,167	14,193,301
負債純資産合計	18,049,732	18,278,936

(2) 四半期損益計算書  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	8,229,329	7,760,602
売上原価	7,042,293	6,500,650
売上総利益	1,187,036	1,259,951
販売費及び一般管理費	529,530	569,565
営業利益	657,506	690,386
営業外収益		
受取利息	4,286	5,695
仕入割引	18,732	16,004
その他	11,495	12,198
営業外収益合計	34,513	33,899
営業外費用		
支払利息	2,361	1,176
売上割引	1,626	246
その他	7,519	3,926
営業外費用合計	11,507	5,350
経常利益	680,512	718,936
特別利益		
固定資産売却益	—	10,419
環境対策引当金戻入額	36,289	—
特別利益合計	36,289	10,419
特別損失		
固定資産除却損	80,189	730
特別損失合計	80,189	730
税引前四半期純利益	636,611	728,626
法人税等	263,248	281,387
四半期純利益	373,363	447,239

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	636,611	728,626
減価償却費	418,920	350,566
賞与引当金の増減額 (△は減少)	690	△11,443
前払年金費用の増減額 (△は増加)	14,118	14,106
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,454	—
受取利息及び受取配当金	△4,286	△5,695
支払利息	2,361	1,176
固定資産売却損益 (△は益)	—	△10,419
固定資産除却損	79,724	211
売上債権の増減額 (△は増加)	△110,202	364,508
たな卸資産の増減額 (△は増加)	81,608	234,478
その他の資産の増減額 (△は増加)	△17,334	△5,928
仕入債務の増減額 (△は減少)	△214,187	△188,128
未払消費税等の増減額 (△は減少)	916	10,403
その他の負債の増減額 (△は減少)	25,859	23,807
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△74,719	—
小計	843,534	1,506,267
利息及び配当金の受取額	4,286	5,695
利息の支払額	△2,361	△1,176
法人税等の支払額	△432,973	△313,003
営業活動によるキャッシュ・フロー	412,486	1,197,783
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△205,672	△149,383
有形固定資産の売却による収入	1,677	3,794
無形固定資産の取得による支出	△55,372	—
その他の支出	△9,396	△530
その他の収入	—	21,878
投資活動によるキャッシュ・フロー	△268,763	△124,241
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	200,000	—
短期借入金の返済による支出	△600,000	—
長期借入金の返済による支出	△189,402	△50,000
自己株式の取得による支出	—	△37
配当金の支払額	△69,688	△87,083
財務活動によるキャッシュ・フロー	△659,090	△137,120
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△515,367	936,421
現金及び現金同等物の期首残高	3,293,075	2,229,484
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,777,707	3,165,905



（4） 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

（5） 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。